令和5年度（2023年度） 中主小学校の教育

中主学区統一教育目標　自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成
学 校 教 育 目 標
心豊かでたくましい実践力のある中主っ子の育成

児童数　586名
学級数　27学級
教職員数　67名
（4月1日現在）

めざす学校像
『地域に信頼される学校』
〇地域や保護者と共に歩む学校
〇子ども、教師、保護者が元気な学校

めざす子ども像
〇かんがえる子
〇やさしい子
〇げんきな子

めざす教師像
〇学び続ける教師
〇子どもの話を聴く教師
〇寄り添い、信頼される教師

まなびプロジェクト部会　かんがえる子

挑戦1　勉強がわかる児童　90%

＜具体的方策＞
◎　学ぶ力向上策
視点1：学びを実感できる授業づくり
①読書貯金　「ことばを増やす」
②ICTを効果的に活用　「みんながわかる」
視点2：学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり
①違いを認め合える集団　「聴く、認める、ほめる」
②自分たちでできた経験と自信　「まかせてみる」
視点3：子どものために一丸となって取り組む学校づくり
①学び合い、高め合い、情報共有する組織　「学年OJT」
②「中主のよさ」を生かした教育活動

こころプロジェクト部会　やさしい子

挑戦2　学校が楽しいと感じる児童 90%

＜具体的方策＞
1　すべての教育活動の中で人権同和教育・いじめ防止
・相手の立場で物事を考える取り組み
2　特別支援理解教育の推進
・特別支援学級と交流学級の連携強化
3　部落問題学習・共通教材の取組
・部落問題学習に繋ぐ系統性のある学習
4　ふたば学級の充実
・保護者会とともに仲間づくりと人権学習を推進

いのちプロジェクト部会　げんきな子

挑戦3　あいさつをする児童　90%

＜具体的方策＞
1　安全な学校生活
・仲間のことを考えた安全な行動（廊下歩行、感染対策等）
・もくもく掃除（無言掃除）の徹底
2　気持ちのよいあいさつ
・子ども、家庭、地域、教師、みんなであいさつ
3　生徒指導の組織対応
・3原則の徹底
①聴く・寄り添う　②ほめる・認める　③考え、判断させる

幼小中で一貫した教育を

〇「中主っ子」家庭教育スタンダード　「中主っ子」学びのスタンダード
中学校・幼稚園・保育所との連携強化

〇連携部会の充実
合同研修会の実施・OJTの共同実施
系統的な教育課程の検討

家庭・地域との連携

〇学校からの情報発信　学校だより、HP、メール配信等
〇地域の力を学校に（地域に学ぶ・地域を学ぶ）　PTA、学校評議員、学校応援団
自治連合会、青少年育成市民会議、民生児童委員　など　中主学区関係団体との連携
〇コミュニティスクール・地域学校協働活動の充実　学校⇔地域（地域貢献）